



報道機関各位

2017年9月25日

＜TUFS Cinema プロジェクト 10月の上映会（無料）のご案内＞

アフリカの現代社会文化理解を深める **アフリカ映画特集**  
シリア難民問題について共に考える **シリア難民映画上映会**

東京外国語大学（東京都府中市、学長：立石 博高）におきまして、10月13日（金）・27日（金）にアフリカ映画特集を、10月20日（金）にシリア難民映画上映会を開催しますので、ご案内します。

**TUFS Cinema：アフリカ映画特集「ふたつのアフリカン・ドリーム」**

上映作品：『アフリカ・ユナイテッド』（10/13）、『アフリカ・パラダイス』（10/27）

各回とも上映後に専門家によるフリートーク付。第1回は、本作を手がけたエリック・カベラ監督も登壇

2000年代に注目されたアフリカ映画2作品の本編上映、作品解説を兼ねたフリートークを行い、アフリカの現代社会文化についての理解を深めます。第1回目のフリートークでは本作の制作を手がけたルワンダ人映画監督エリック・カベラ氏も登壇します。

第1回 10月13日（金）17:40 開場 17:50 開映

- ①『アフリカ・ユナイテッド』本編上映（90分/2008年/英国・南ア・ルワンダ）
- ②フリートーク：エリック・カベラ（映画監督）、吉田未穂（シネマアフリカ代表）

第2回 10月27日（金）17:40 開場 17:50 開映

- ①『アフリカ・パラダイス』本編上映（85分/2006年/ベナン・フランス）
- ②フリートーク：小田マサノリ（現代美術家、本学非常勤講師）、真島一郎（本学教授）

各回とも会場 東京外国語大学 研究講義棟2階227教室、入場無料、先着216名、予約/申込不要



**TUFS Cinema：シリア難民映画上映会（国連 UNHCR 難民映画祭 学校パートナーズ\*）**

上映作品：『シリアに生まれて』

上映後に本学公認学生サークル・シリア研究会や専門家による公開座談会つき

国連 UNHCR 難民映画祭の大学パートナーズとして、『シリアに生まれて』を上映します。上映後には、シリアやアラブ諸国の支援や政治社会を専門とする3名の専門家（下記参照）と本学公認学生サークルシリア研究会の学生による平和と復興を考える公開座談会も予定しています。

\*「学校パートナーズ」とは、学校での映画の上映を通じて世界中で紛争や、迫害によって家を追われた人々の問題について理解を深めることを目的とした国連 UNHCR 難民映画祭の取り組み

日時：2017年10月20日（金）16:00 開場 16:30 開映

会場：東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール

プログラム：①『シリアに生まれて』本編上映（84分/2016年/シリア他/デンマーク、スペイン制作/ドキュメンタリー）②公開座談会「シリアの平和と復興を考える」（登壇者：特定非営利活動法人日本イラク医療支援ネットワーク JIM-NET 事務局長・佐藤真紀氏、シリア支援団体サダーカ事務局顧問 兼 明治学院大学准教授・平山恵氏、東京外国語大学・青山弘之教授、同大学生公認サークル・シリア研究会メンバー）

その他：入場無料、先着500名、予約/申込不要



添付資料：各企画のフライヤー

＜本件に関するお問い合わせ＞東京外国語大学 総務企画課 広報係

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：soumu-koho@tufs.ac.jp

TUFS Cinema ウェブサイト：https://tufscinema.jp/

# アフリカ アフリカ

## ふたつのアフリカン・ドリーム

TUFS Cinema / アフリカ映画特集

# アフリカ アフリカ

2017年 **10月13日** [金]

2017年 **10月27日** [金]

17:40開場 **18:00-20:00**

東京外国語大学研究講義棟 **227** 教室

※先着順 / 申込不要 / 定員 216名

**入場無料**

二〇一〇年

アフリカの五人の子どもたちが

**ワールドカップ南ア大会へ**

五〇〇〇キロを旅する

(08年 イギリス / 南アフリカ / ルワンダ 90分 日本語字幕)

Anything is possible  
なんだってできる。



二〇三三年

崩壊したEU諸国から

**アフリカ合衆国**に

移民たちがおしよせる

(06年 ベナン / フランス 85分 日本語字幕)

©Nick Wall





# アフリカ

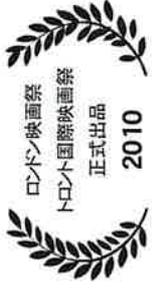
AFRICA UNITED

デブス・ガードナー・バスターソン監督 / 2008年 / イギリス・南アフリカ・ルワンダ / 90分 / 英語、日本語字幕

【ストーリー】

W杯に行きたい、その一心でルワンダから南アフリカまで5000キロを自力で旅した子どもたちの物語。W杯の開会式に招待される“エスコート・キッズ”の選考会に参加するため、3人の子どもたちがルワンダの首都キガリをめざしてバスに飛び乗った。ところが、着いたのはコンゴの難民キャンプだった。それでもあきらめきれない子どもたちは、一路、南アフリカを目指して歩きはじめた。

【ストーリー】 「ルワンダ発の希望の物語がやってきた」(吉田未穂)



【プログラム】

**10月13日 [金]** 東京外国語大学 研究講義棟2階227教室  
17:40- 開場  
18:00- 映画「アフリカ・ユナイテッド」上映 (90分)  
19:30- フリートーク (エリック・カベラ × 吉田未穂)  
※日本語での適宜通訳あり



**エリック・カベラ** Eric Kabera

コンゴ民主共和国生まれ。ルワンダ人映画監督・プロデューサー。ルワンダ映画学校の創立者であり、Rwanda Film Festival を主宰。『アフリカ・ユナイテッド』をはじめ、ルワンダ虐殺を初めて映画化した『100 Days』、『Keepers of Memory』などを手がける。

**吉田未穂** Miho Yoshida

東京生まれ。東京都立大学大学院地理学専攻修士。2006年にシネマアフリカを立ち上げ映画祭を開催。「アフリカの語るアフリカ」を探しに、アフリカ各地の映画祭に参加し修行中。

エリック・カベラ 「アフリカを、地図の上に、まったく新しい方法で描いてみたかったんだ」



# アフリカパラダイス

AFRICA PARADIS

シルベストル・アム監督 / 2006年 / ベナン・フランス / 85分 / フランス語、日本語字幕

【ストーリー】

西暦2033年、超大国となった「アフリカ合衆国」が隆盛をほこる一方、EUが崩壊したヨーロッパは、紛争や疫病に悩まされる発展途上国になりはてた。フランスで食いつめたカップルは、アフリカへ密航するが、憧れの大陸では、ヨーロッパからの移民たちをとりまく厳しい現実が待っていた。

【ストーリー】 「この映画を夢みるアフリカ人の観客に感情移入しながら観ました」(イルコモンズ)



「アフリカ合衆国」国旗

【プログラム】

**10月27日 [金]** 東京外国語大学 研究講義棟2階227教室  
17:40- 開場  
18:00- 映画「アフリカ・パラダイス」上映 (85分)  
19:25- フリートーク (小田マサノリ × 真島一郎)  
小田マサノリ Masanori Oda  
現代美術家、文化人類学者、本学非常勤講師(「現代世界論概論」担当)

**真島一郎** Ichiro Majima

文化人類学者、本学教員(グローバル・スタディーズ)担当

アフリカ映画特集「ふたつのアフリカン・ドリーム」によせて

ポストコロナの苛酷すぎる現実を気楽にスルーしたりせず、底知れぬ生の両義性に踏みとどまって未知の出口を見つけたこと。パラダイスとディストピアの隣接ぶりを今日の世界に透視すること。アフリカを日本に、世界に、再インストールすること。なんだけだってできる Anything is possible を、いままぐ思い出すこと。ドリーム見参!

# 思想

8  
2017  
NOV.14

思想するアフリカ

編集者 眞島一郎

※特集は、右記の対談をきっかけに企画されました。小田マサノリ×眞島一郎 「ワグ・ワグ」×眞島一郎 「アフリカ」 「思想」2017年8月号「思想するアフリカ」



東京外国語大学

TUFS Cinema シリア難民映画特集



# 映画『シリアに生まれて』

## 上映会+公開座談会



©2016 Contramedia Films / La Claqueta PC

### [プログラム]

- 16:30- 映画『シリアに生まれて』本編上映
- 18:00- 公開座談会「シリアの和平と復興を考える」

登壇者:

- 佐藤真紀 (特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク JIM-NET事務局長)
- 平山 恵 (シリア支援団体サダーカ事務局顧問、明治学院大学准教授)
- 青山弘之 (東京外国語大学・教授、専門分野:現代東アラブ地域政治)
- シリア研究会メンバー (東京外国語大学 学生公認サークル)

### [上映作品のあらすじ]

2011年以来、シリア危機によって故郷を後にした数百万人もの人々、その多くは子どもである。ヨーロッパへと向かう長く苛酷な道のりや周辺国の難民キャンプ、あるいはようやくたどり着いた見知らぬ土地で子どもたちは何を想うのか。爆撃により負傷し、家族と生き別れ、子どもとしての時間を奪われ、それでも新たな希望を胸に逞しく生きる7つの小さな命にカメラが丁寧に寄り添う。2017年ゴヤ賞長編ドキュメンタリー賞ノミネート

シリア、ヨーロッパ(複数国) / デンマーク、スペイン製作 / 2016年 / 84分 / ドキュメンタリー / アラビア語、クルド語、フランス語、ドイツ語、スペイン語 / 日本語・英語字幕付き / 監督 エルナン・ジン

2017年

日時

# 10月20日[金]

開映16:30 (開場16:00) 19:00終了予定

会場

## 東京外国語大学

アゴラ・グローバル/プロメテウス・ホール  
東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨駅」徒歩5分

その他

入場無料 / 申込不要 /  
 先着 501 名  
 主催：東京外国語大学  
 後援：UNHCR駐日事務所、国連UNHCR協会

シリア学生写真展  
 同時開催決定！  
 10/17(Tue)-20(Wed)  
 研究講義棟ガレリアにて